

【効果的な研究協議会にするために・・・】

授業参観後の研究協議会でこんなことを感じたことはありませんか。



視点がいくつかあったのに時間が
なくなってしまった。



あまり意見がでないな。
話合いが深まらないな。

そんなとき、研究協議会にこんな方法をとってみてはいかがでしょうか。

- 1 授業の視点ごとに場所を設置し、それぞれに司会者をおく。
- 2 参観者は設定時間内に KJ 法で話合いをする。その際、参加者が時間意識を共有できるようにタイマーを使う。(タイムマネジメント)
- 3 時間がきたら、参観者は次のテーブル(視点)に移動して、その視点に沿った話合いをする。
- 4 これを視点の数だけ繰り返す。司会者が協議の内容をまとめていく。
- 5 司会者が各視点に沿った協議内容をまとめて発表し、共有する。

※事務所購入のタイマー



今後の研修会で活用
します。



グループでの話合い



別のテーブルに移動し
て違う視点での話合い



司会者の発表

< 檜枝岐中学校の取組より >

これは、11月26日(木)に道徳教育地区別推進協議会(檜枝岐中学校)で行ったものです。参加者からは、「時間を設定したことで、集中して協議ができた」、「意見がたくさん出て、協議が深まった」、「司会者の発表からたくさんの意見を聴くことができ参考になった」等の意見が出されました。小グループで話し合うことにより意見が出しやすい、大きなタイマーを見やすく掲示し共有したことによりタイムマネジメントができる等のメリットがあります。

校内の研修の1つとして取り入れてみてはいかがでしょうか。

福島県教育庁南会津教育事務所
学校教育課

TEL 0241 - 62 - 5255

HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/>

